

ABC NEWS DEFRAUDING: INSIDE THE ABC NEWS UFO DOCUMENTARY HOAX

Dr. Steven M. Greer.

Director, The Disclosure Project

March 2005 - revised August 8, 2005

<http://www.disclosureproject.org>

Copyright 2005

欺いたABCニュース： ABCニュースUFOドキュメンタリーの内幕

スティーブン・M・グリア博士

公開プロジェクト責任者

2005年3月 - 2005年8月8日改訂

著作権 2005年

([公開プロジェクトのウェブサイトより](#))

註記： 本文は全文掲載または正確な抄録に限り、広く転載、配布することを許可する。

もちろん、その番組のタイトルは 'UFO - 見ることは信じること' だった。これは、いかにして墮落した大手メディアがまたしてもアメリカ国民を欺いたか、その一部始終を最前列の席で見ていた者からの報告である。

2004 年の夏、公開プロジェクト（ディスクロージャー・プロジェクト）の創始者であり責任者である私に、プロデューサーのジョーダン・クロニックから申し入れがあった。彼は、ABC ニュースが UFO 問題について真面目な紹介を行なうことで、歴史に残ることをするつもりであると説明した - 全国ネットのニュースでは初めてということだった。

最初は疑念を抱いた - 我々は以前このような大袈裟で胡散臭い話を見たり聞いたりしていた - が、私はワシントン D.C.にある我々のオフィスでクロニックと会うことに同意した。数時間にわたり、我々はそのテーマについて議論し、公開プロジェクトがいかにして軍と政府の数百人に上る UFO 事象とプロジェクトの最高機密証人たちを確認してきたかを論じた。

クロニックは大きな関心を示し、これこそ彼とチーフプロデューサーのマーク・オーベンハウスが求めているものだとは何度も明言した。私は ABC ニュースに進んで協力するために、無料で公開プロジェクトの 'すべて' のデジタルビデオテープ・インタビューと 'すべて' の証人たちへの接触情報を提供することを申し出た - その中には我々がまだテープに撮っていない人々も含まれていた。

ここで読者は、次のことを知る必要がある。つまり、これらの人々は夜話を匿名で語る、

曖昧な暗闇の密告者ではないということである。これらの人々は、過去 14 年間に我々によって確認されてきた数百人の軍、政府、および企業の部内者たちである。彼らは将軍から宇宙飛行士、FAA（連邦航空局）高官にまで及び、UFO に関係した事象、プロジェクト、隠蔽の内情に通じていた。それに加え、我々には数千ページに及ぶ疑う余地のない動かぬ証拠の政府公式文書、物理的証拠、写真、ビデオ、着陸痕跡事象、その他の明白な証拠物がある。

ABC ニュースの制作チームは、まさにこの種の証拠 - 特に、数十年間の秘密を確実に暴露することができる政府と軍の高い地位にある内部告発者 - を求めていると主張した。

ABC は、2 時間のニュース特別番組として、この目的を達成するのに必要な焦点と厳密さをこの主題にやっとならせることができると断言した。

しかし、議論が続くにつれて益々明らかになっていったのは、オーベンハウスが本当に望んでいたのは一種の三面記事的番組 - 裏付けの乏しい市民の証人、街頭インタビュー、そして UFO 研究なるものの大部分を取り巻く、一般的な夏枯れ時のお祭り気分といった雰囲気のものだった。

我々は、2004 年 8 月に行なわれた CSETI（Center for the Study of Extraterrestrial Intelligence；地球外知性体研究センター）のシャスタ山調査旅行を撮影することに協力した。このとき、我々はこのプロジェクトの責任者である上級プロデューサーのオーベンハウスと議論する機会を持った。

オーベンハウスは我々に、次のことを確信していると口にした。つまり、問題は実際には秘密にされていたのではなく、政府側の計画の継続、怠惰、等々のために、ただ '放っておかれてきた' のだと！我々には信じられなかった。彼に渡されたデータや証拠を彼が調査していないこと、また彼が真実の紹介または調査プロジェクトではなく、'軽い' 興味本位の番組を制作しようとしていたことは明らかだった。

このことは、後になってはっきりした。夏から秋になり、彼らが行なうと主張した長い約束である、政府の最高機密証人たちへの真面目な調査とインタビューは、これらの高い地位にある決定的証人たちと行なわれることになっていた。彼らはそれを一度もしなかった。

その代わりに、最終的な ABC ニュース番組は、UFO を扱う大抵のタブロイド・ケーブルテレビの番組よりも、証拠において弱かった - 'ドキュメンタリー' の大半が UFO 有名人、暴き屋（デバンカー）、およびロズウェルのような UFO 人気スポットについてのお祭り気分を伴うものだった。

彼らは、欺瞞的にも懐疑派と '信じる派' を登場させ、'バランスがとれている' ように見せかけた - その中では明らかに懐疑派は '真の科学者' であり、'信じる派' は見当違い

の変わり者だと暗示されていた。ABC ニュースはメディアの '客観性' という計略を用い、たとえばエイリアンに性的暴行を受けたと思い込んでいる一人の市民と対置させて一人のハーバードの懐疑派科学者を登場させるという、不釣り合いなことをしようとした！

パイロットと軍関係者への非常に少ない簡単なインタビューは、この問題全体を馬鹿にする科学者たちの長時間の場面に混ぜ込まれた、UFO サブカルチャーの誤った、お祭り気分を伴う疑似民族誌に圧倒されていた。

一般視聴者に対して客観的で 'バランスがとれている' ように見せかけてはいたが、そのプロジェクトは、むしろ見せかけだけ客観的であるように注意深く拵えられた、偽情報工作番組だった。

そうでなければ、なぜあれ程の長い放送時間を UFO 有名人、メディア関係者、その他の似たような人々へのインタビューにあてたのか？ - 我々から彼らに直接提供された軍、政府、科学界の高い地位にある証人たちと証拠の 'すべて' を完全に除外しておきながら。

我々が直接彼らに提供した資料の範囲と内容を考えれば、なぜその 'すべて' が除外されることになったのか、理解できない - 最初から彼らが偽情報と隠蔽の番組を意図していたのでない限り。

また、なぜ ABC ニュースは、ブルーブック計画が閉じられた 1969 年以来、米国政府は UFO 問題から手を引いていると述べようとしたのか？ 彼と彼のチームには、それとは反対に米国政府の公式文書、政府高官の内部告発証言、および物理的証拠 - レーダーテープも含まれている - が直接我々から提供されたのだ。なぜ ABC ニュースは、'どこに物理的証拠がありますか？' と修辭的質問をする無知な科学者たちを主役に据えようとしたのか？ 十分な物理的証拠が入手可能で、しかも彼に提供されたにもかかわらず。

本当に、なぜなのか。我々は 1991 年のある CIA 文書を受け取ったが、それには話を変え、潰し、情報操作するために、CIA が大手メディアに接触者を持っているとはっきり述べられている。1991 年 12 月 20 日付、1992 年 4 月 1 日に 'CIA の開放性強化調査特別委員会 (Task Force on Greater CIA Openness)' から CIA 長官に報告されたこの文書 6 ページ目の引用：

“現在 PAO [the Public Affairs Office ; 広報課] は、国内の主要なあらゆる通信社、新聞社、週刊誌、およびテレビネットワークの記者たちと関係を持っている。このお陰で、我々はいくつかの諜報活動上の失敗談を成功談に変えてきた... 多くの場合、我々は記者たちを説得し、話を引き延ばしたり、変えたり、差し止めたり、破棄することまでしてきた...”

そして我々は、UFO についての心理作戦効果に関するある CIA 文書の中に、現在は ABC の親企業になっているディズニースタジオが、心理作戦目的でこの主題を漫画的に描写す

る一つの情報源として使われていると言及されている部分を見出す。

ABC ニュースが再びアメリカ国民を欺いたことは、驚くべきことか？ - 彼らはただニュースと真実の調査を報道するふりをしながら、実際は信じやすい国民に偽情報を流している。

オーベンハウスは、調査や事実の根拠なしに、政府-企業の複合体は新しいエネルギー、推進技術、および関連する技術を国民の目から秘密にしていない、そう直接私に断言することまでした！ この問題についての彼の偏見は、根深く揺るぎないものだった： 事実なんか忘れろ、自分の心は決まっている。

このプロジェクトの上級プロデューサーが、何ら調査や研究もせずに、最初からこのような狭量な結論を支持するなら、ABC ニュースの主張が真面目な紹介や調査報告をすることだと認めるのは困難である。

私を知る人々は、私が確信を持ち、断固たる事実を提示し、これらの新しい技術の知識の恩恵を受けて進歩した持続可能な文明が地球に生まれる展望を示したいと思っていることを知っている。しかし、今やアメリカ国民は、大手メディアとその所有者たちこそが、真実が明るみに出ることを妨害している中心問題であるという事実に目覚めるときだ。かつてのタイムワナー役員が私に語ったように、大手メディアは王様の腹心の口述筆記をするだけの書記官になり下がった - そして、ジャーナリズムは本質的に死んだ。

行動要請

アメリカ国民は、ABC ニュースがその欺瞞的主張を正し、公開プロジェクトや他の研究者たちが確認している重大な証拠、政府文書、勇気ある軍の内部告発証言について真実の調査報告を行なうよう要求すべきである。読者はこの証拠の多くを www.DisclosureProject.org から入手することができる。

ABC ニュースに手紙を書き、誠意ある調査報告を要求してほしい：

abc.news.magazines@abc.com

support@ABCNews.go.com

それに加え、どうか FCC（連邦通信委員会）に連絡し、ABC ニュースがアメリカ国民に対して犯した明白な詐欺行為に関して、あなたの苦情を登録してほしい。思い出してほしい：ABC ニュースは、放送ネットワークとして FCC により公共電波の権利を与えられている。それと引き換えに、我々には他のネットワークと同様に ABC ニュースに対して、公正さ、正確さ、および誠実さを守らせる権利がある - 見え透いた詐欺行為と墮落を避けることももちろんである。アメリカ国民に対してこのイカサマ報告を実行したのは、ABC の娯楽部門ではなくそのニュース部門だった。彼らがこれほど重要な 2 時間報道から、信用できる証拠と政府部内証人の殆どすべてを削除したのだから、我々は直ちに FCC による

公聴会を要求する必要がある。誰がオーベンハウスとピーター・ジェニングスに、この重要な証拠を隠蔽するよう促したのか？ なぜ？ ABC ニュースは、この問題について知らなかったと言い張ることはできない。なぜなら、彼らには膨大な証言と証拠が直接提供されたからである。これらのどれも番組では使われなかった。

FCC（連邦通信委員会） www.fcc.gov/cgb/complaints.html に連絡し、この問題について直ちに調査を行なうよう要求すると共に、FCC が ABC にその虚偽の陳述を引っ込めさせ、彼らが持っていてアメリカ国民から隠している証拠を提示させるよう要求してほしい。

そして最後に、あなたにできるあらゆる方法で、公開（ディスクロージャー）を支援してほしい。我々が真実を世に出すことに力を貸してほしい。人々に <http://www.DisclosureProject.org> を伝えてほしい。そこには、この重要な問題についての真実がある。我々が新しい - そして誠意ある - 報道機関を立ち上げることを援助する後援者たちを見つけることに力を貸してほしい。それは人々から不法に隠されている、これらのことや関係するプロジェクトを誠実に報道する機関である。政府と企業の広範な墮落について真実の調査報告を作成し、報道するニュースネットワーク - 公開ネットワーク（The Disclosure Network） - 我々は今、それを始めるときではないだろうか？ もし我々が民主主義を回復擁護し、石油と原子力を置き換えることにより持続可能で平和な世界をもたらすことができる、今は隠され抑圧されている技術を公開しようとするなら、現在大手メディアの共謀により完全に隠されたままになっている諸問題は、人々に知られる必要がある。

我々はもはや、これを行なうのに ABC ニュースなどの大手メディアを信用することはできない。我々人民は、真実を明るみに出す仕事を引き受けなければならない - そして、我々の民主主義と惑星のうちから残されているものを救い出さなければならない。大手メディア、それは彼らの所有者たちのためのサクラになり果て、真実を語る能力も意思も失った。彼らに代わり、我々がそれを行なうときである。

スティーブン・M・グリア

責任者であり創始者

公開プロジェクト

バージニア州アルベマール郡

2005 年 3 月

2005 年 8 月更新

<http://www.DisclosureProject.org>

（訳： 廣瀬 保雄）